

平成27年11月19日

コンクリートパイロ建設技術協会からの報告を受けた  
国土交通大臣コメント

- 本日、一般社団法人コンクリートパイロ建設技術協会から、自主点検の実施状況等について報告がありました。
- この報告は、現時点における協会会員企業の自主点検の状況であり、既に調査を行っている旭化成建材を除き、現在、30社・約12,000件の調査が進められていることが確認できました。
- 今後、基礎ぐい工事に対する国民の信頼を回復していくためには、業界自らが、率先してデータ流用等の再発防止に取り組んでいくことが必要です。
- 本日の報告を受け、次のステップとして、11月27日時点での自主点検の結果について国土交通省に報告するよう協会に指示しました。
- データ流用が判明した物件については、当然のことながら、元請企業等と協力の上、くいの到達の有無等の調査を求めてまいります。
- 国土交通省としては、国民の皆様の不安を解消するため、引き続き、データ流用が判明した物件の安全性の確認を速やかに進めるとともに、対策委員会において専門的見地からのご意見をいただきつつ、しっかりと再発防止策を打ち出してまいります。